

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	4:郷土の文化・伝統に親しむまちづくり
分野	15:文化・歴史
具体的な施策【施策】	33:多様な文化財の保存・継承と活用
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「八代市歴史文化基本構想」に基づき、文化財をその周辺環境も含め総合的に保存・活用することで、文化遺産を活かした地域づくりにつながるよう、市民の参加意識を高める取組みを進めます。</li> <li>・2022年度に築城400年を迎える八代城跡を中心とする歴史・文化ゾーンの保存・活用の取組みや、関係団体との連携による文化遺産の情報発信を行い、認知度を高める取組みを進めます。</li> <li>・ユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭をはじめとする市内各地の民俗文化財の保存継承と、情報発信につながる施設の整備を図り、郷土学習への有効活用や後継者の育成を図る取組みを進めます。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_文化振興課
	現状（進捗状況）	ユネスコ無形文化遺産登録を受けた八代妙見祭の保存継承、情報発信に、市民、関係団体、行政が力を合わせて取り組むことで、市民の参加意識を高めた。また令和2年6月に各地に分布するめがね橋や干拓樋門、無形民俗文化財を繋げるストーリーが「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡」として日本遺産の認定を受けた。さらに八代妙見祭をはじめ市内各地の民俗文化財の保存継承、情報発信に繋げるための施設「八代市民俗伝統芸能伝承館（お祭りでんでん館）」が完成し令和3年7月30日に落成式典を実施した。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	新型コロナウイルス感染症の影響によりほぼすべてのイベントが中止となり、日本遺産においても認定後の誘客事業は殆んど実施できない状況が続いている。出来る範囲での活動を続けてはいるものの、実際の催事ができないことによる後継者育成への懸念がある。少子高齢化やコロナ禍の中でも、本市の文化遺産をいかに保存継承し活用していくかが今後の大きな課題である。
	第2期計画の方向性	お祭りでんでん館を中心とした民俗文化財の保存継承、及び歴史文化ゾーンの連携・保存活用による周遊観光を促進していく。また、市民・関係団体・行政が連携をとり、シビックプライドの醸成を図りながら、関係団体の自立的・持続的な運営を目指していく必要がある
備考・コメント		

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	4:郷土の文化・伝統に親しむまちづくり
分野	15:文化・歴史
具体的な施策【施策】	34:芸術・文化活動の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が創造意欲をかき立てられる魅力的なコンサートや演劇、展覧会や講演会などを積極的に開催し、八代市の文化水準の向上を目指すとともに、市民の文化芸術活動に対し、発表と鑑賞の場を提供します。</li> <li>・八代市文化祭や文化団体などが開催する自主的な文化事業を進めるとともに、文化・芸術の担い手の育成を図る取組みを進めます。</li> <li>・博物館は、文化庁による重要文化財公開承認施設として、全国水準の文化財・芸術作品を鑑賞する機会を市民に提供します。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_文化振興課
	現状（進捗状況）	自主文化事業によるコンサート、演劇、講演会等を開催してきたが、年々、自主文化事業への参加者数が減少し、さらに令和2年度はコロナ感染症の影響でほぼすべてのイベントが中止となる中、新たな文化芸術活動の発表や鑑賞機会を創設するための映像配信事業を実施した。また毎年9～11月にかけ八代市文化祭を開催するとともに、まちの先生派遣事業を実施し、市民や子供たちが広く文化活動に参加できる機会を作った。
	施策の進捗度	B（やや進捗が遅れている）
	課題	ここ数年、文化祭の参加者（参加団体）数、入場者数が伸び悩んでいるなか、令和2年度はコロナ感染症の影響でほぼすべてのイベントが中止となり、令和3年度も影響を受けている状況。厚生会館が利用停止になり、興行のコンサート等も実施困難になる中、若者の文化離れや文化芸術活動の振興が滞ることのないよう、文化の継承と、文化芸術活動にもっと積極的に参加できるような取組みを考えていく必要がある。
	第2期計画の方向性	文化協会等団体の活動への一層の支援とともに、各事業の見直しを行いながら、若い世代や教育現場を巻き込んだ文化芸術活動への積極的な参加を促進するような取組みを考える。また文化情報発信にも力を入れて、自主文化事業については、市民の意見を積極的に取り入れながら、市民が集まりやすく、利用しやすいホールとしての新たな企画を検討していく。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	教育部_博物館
	現状（進捗状況）	（博物館）わが国のすぐれた美術品鑑賞の機会となる春季展、地元の歴史文化を子どもにも親しみやすく紹介する夏季展、八代の歴史と文化を全国的な視野でとらえ直す秋季展、城下町文化を取り上げる冬季展と、各テーマに相応しい充実した特別展覧会を開催した。平成30年以降3カ年で14件の重要文化財を公開することができ、令和3年度も4件の公開を予定している。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	コロナ禍の中、遠隔地への調査や出品交渉等に行き難い状況であることや、準備を進めながら急遽休館、閉会となる場合のリスク軽減も考慮し、確実に開催できる内容の展覧会を模索しなければならない。また、デジタル技術の活用によって、展覧会の告知や見どころ、展示作品や作者の紹介など、さまざまな情報を発信し、博物館に興味を抱き、さらに実物を間近で見たいと思う人を増やす取組みを行っていきたい。
	第2期計画の方向性	本年5月に出された文化庁長官メッセージにある通り、コロナ禍という不安の中、文化芸術活動は人々に安らぎと勇気、明日への希望を与え、社会全体の健康や幸福を維持するために必要不可欠なものである。博物館もまた、すぐれた文化・芸術に触れ、実物を見る感動とともに郷土への誇りと愛着を育む場として、広く市民に親しまれるサービスの提供によりいっそう力を入れる。
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

## 第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	2:郷土を担い学びあう人を育むまち
施策の大綱【政策】	4:郷土の文化・伝統に親しむまちづくり
分野	15:文化・歴史
具体的な施策【施策】	35:文化施設の整備・充実
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全基準への対応や更新時期を迎えた設備の整備・改修を、計画的に行い、利用者の安全性・快適性の確保と満足度の向上を図るとともに、施設の長寿命化を図ります。</li> <li>・八代妙見祭をはじめ市内各所の無形民俗文化財の保存継承と情報発信につながる施設の整備を図ります。</li> </ul>

1	担当課かい名	経済文化交流部_文化振興課
	現状（進捗状況）	厚生会館は、建物自体の老朽化や、耐震問題、設備の多岐にわたる大規模な改修の必要性等の諸問題を抱えており、R2年度の八代市ホール施設等あり方検討会より提出された意見を踏まえ、ホールとしての機能停止と今後の利活用について検討することを決定した。隣接する八代市民伝統芸能伝承館（お祭りでんでん館）は多少の工事の遅れや変更も見られたものの、令和3年6月に竣工し、7月オープンを迎えることとなった。鏡文化センターについては、建築から20年以上経過し、設備の老朽化が目立っており、吊り天井をはじめ空調、舞台設備等、計画的な改修工事が必要となっている。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	文化施設の整備には、利用中の突発事故防止など利用者等の安全性を第一に考え、利用状況に応じた適切な早期改修が必要とされるものの、整備には多くの費用と時間を要するため、予算や他のホール施設の改修状況も考慮し、計画的な改修を行う必要がある。
	第2期計画の方向性	鏡文化センター：早急に施設、設備の改修計画を立て、維持管理していく必要がある。 厚生会館：新たな利活用の方針を定め、予算措置、設計、工事をすすめ、建物を活かした利活用を行う。 お祭りでんでん館：本市の民俗文化の新たな魅力発信拠点として、体感シアターでの妙見祭の迫力ある映像放映や笠鉦の実物展示、常設展示室での見ごたえのある展示企画等を行うことで、保存・継承と情報発信を図る。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	